第89回全国非常通信訓練の内容

別紙

概　要

- 大規模災害により、**通常の通信手段による情報伝達ができない事態を想定**し、非常時における円滑な通信の確保に資するため、**都道府県ごとに非常通信訓練を実施**（46都道府県、118市町村、中央省庁、電力会社等の関係機関が参加）。
- 訓練では、**警察や消防、電力会社等の各機関が保有する自営通信網**の他、**防災相互波や衛星携帯電話等多様な通信手段を活用**し、想定被災地から国（内閣府）までの情報収集や要請の伝達等を実施。
- 訓練の結果を踏まえ、非常通信の確保に係る課題やその改善方法を検討。

訓練内容

① 各都道府県の想定被災地等から内閣府防災非常本部への**非常通信ルートを用いた通信訓練**

② 地方通信ルートが使用不可能である状況等を想定し、**非常通信ルート以外の通信手段を活用した通信訓練**

例） 衛星携帯電話、MCA無線、防災相互波、移動系防災行政無線等を活用した通信訓練　等

③ その他の訓練

例） 非常用電源の運用訓練、孤立集落や避難所への情報伝達訓練、災害対策用移動通信機器の搬入訓練、画像伝達訓練　等

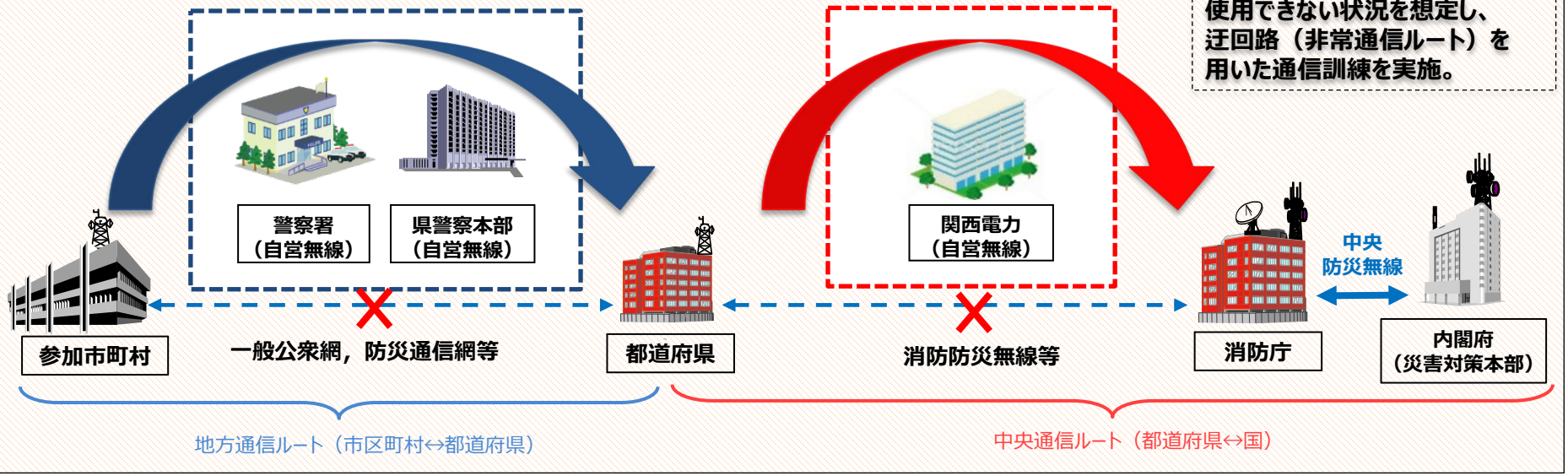
【参加機関】

訓練日時	参加都道府県（参加市町村数）	参加関係機関
11月10日（火）	青森県（1）、岩手県（4）、宮城県（3）、群馬県（3）、神奈川県（4）、新潟県（2）、長野県（2）、佐賀県（1）	防災庁、消防庁、警察庁、国土交通省、海上保安庁、防衛省、電源開発（株）、東京電力ホールディングス（株）　等
11月11日（水）	北海道（7）、東京都（1）、山梨県（1）、岐阜県（2）、愛知県（2）、香川県（2）、愛媛県（2）、福岡県（1）	
11月12日（木）	茨城県（2）、栃木県（2）、埼玉県（2）、千葉県（2）、富山県（6）、福井県（5）、三重県（2）、鳥取県（3）、徳島県（2）、高知県（2）、長崎県（1）	
11月25日（水）	秋田県（1）、石川県（7）、大阪府（1）、島根県（3）、岡山県（2）、広島県（2）、山口県（2）、大分県（1）、宮崎県（1）	
11月26日（木）	山形県（1）、福島県（2）、静岡県（4）、滋賀県（1）、京都府（1）、兵庫県（3）、奈良県（4）、和歌山県（2）、鹿児島県（1）、沖縄県（12）	

非常通信ルートを用いた通信訓練例

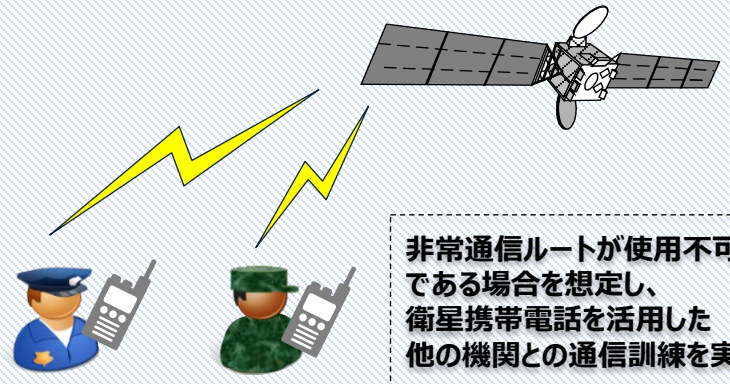
①非常通信ルートを用いた訓練
（既存の非常通信ルートの有効性を検証）

平常時使用している通信手段が使用できない状況を想定し、迂回路（非常通信ルート）を用いた通信訓練を実施。



非常通信ルート以外の通信手段を活用した通信訓練例

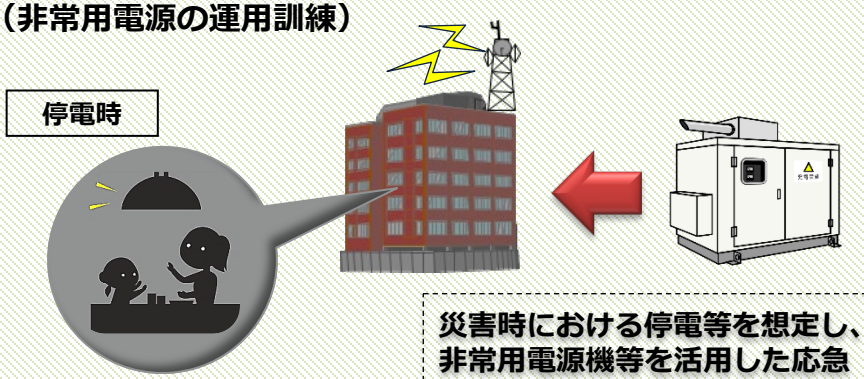
②非常通信ルート以外の通信手段を活用した訓練
（衛星携帯電話を活用した訓練）



非常通信ルートが使用不可能である場合を想定し、衛星携帯電話を活用した他の機関との通信訓練を実施。

その他の訓練例

③その他
（非常用電源の運用訓練）



災害時における停電等を想定し、非常用電源機等を活用した応急運用手順の確認等の訓練を実施。